くさびら

泉鏡太郎

青空文庫

御馳走には季春がまだ早いが、たゞ見るだけなら何時でも構はない。食料に成る成らないは別として、今頃の梅雨には種々の茸がによき〳〵と野山に生える。

野山に、によき〳〵、と言つて、あの形を想ふと、何となく滑稽けてきこえて、大分安直に扱ふやうだけれども、飛んでもない事、あれでなか〳〵凄味がある。

先年、麹町の土手三番町の堀端寄に住んだ借家は、太い濕氣で、遁出すやうに引越した事がある。一體三間ばかりの棟割長屋に、八疊も、京間で廣々として、柱に唐草彫の釘かくしなどがあらうと言ふ、書院づくりの一座敷を、無理に附着けて、屋賃をお邸なみにしたのであるから、天井は高いが、床は低い。——大掃除の時に、床板を剥すと、下は水溜に成つて居て、溢れたのがちよろ〳〵と蜘蛛手に走つたのだから可恐い。此の邸……いや此の座敷へ茸が出た。

生えた……などと尋常な事は言ふまい。「出た」とおばけらしく話したい。五月雨のしと〳〵とする時分、家内が朝の間、掃除をする時、縁のあかりで氣が着くと、疊のへりを横縦にすツと一列に並んで、小さい雨垂に足の生えたやうなものの群り出たのを、黴にしては寸法が長し、と横に透すと、まあ、怪しからない、悉く茸であつた。細い針ほどな侏儒が、一つ〳〵、と、歩行き出しさうな氣勢がある。吃驚して、煮湯で雑巾を絞つて、よく拭つて、先づ退治た。が、暮方の掃除に視ると、同じやうに、ずらりと並んで揃つて出て居た。此が茸なれ

ばこそ、目もまはさずに、じつと堪へて私には話さずに祕して居た。私が臆病だからである。

何しろ梅雨あけ早々に其家は引越した。が、……私はあとで聞いて身ぶるひした。むかしは加州山中の温泉宿に、住居の大圍爐裡に、灰の中から、笠のかこみ一尺ばかりの眞黒な茸が三本づゝ、續けて五日も生えた、と言ふのが、手近な三州奇談に出て居る。家族は一統、加持よ祈祷よ、と青くなつて騒いだが、私に似ない其主人、膽が据つて聊かも騒がない。茸だから生えると言つて、むしつては捨て、むしつては捨てたので、やがて妖は留んで、一家に何事の觸りもなかつた——鐵心銷怪。偉い！……と其の編者は賞めて居る。私は笑はれても仕方がない。成程、其の八疊に轉寢をすると、とろりとすると下腹がチクリと疼んだ。針のやうな茸が洒落に突いたのであらうと思つて、もう一度身ぶるひすると同時に、何うやら其の茸が、一づゝ芥子ほどの目を剥いて、ぺろりと舌を出して、店賃の安値いのを嘲笑つて居たやうで、少々癪だが、しかし可笑い。可笑いが、氣味が悪い。

能の狂言に「茸」がある。——山家あたりに住むものが、邸中、座敷まで大な茸が幾つともなく出て祟るのに困じて、大峰葛城を渡つた知音の山伏を頼んで來ると、「それ、山伏と言つぱ山伏なり、何と殊勝なか。」と先づ威張つて、兜巾を傾け、いらたかの數珠を揉みに揉んで、祈るほどに、祈るほどに、祈れば祈るほど、大な茸の、あれ〳〵思ひなしか、目鼻手足のやうなものの見えるのが、おびたゞしく出て、したゝか仇をなし、引着いて惱ませる。「いで、此上は、茄子の印を結んで掛け、いろはにほへとと祈るならば、などか奇特のなかる

べき、などか、ちりぬるをわかンなれ。」と祈る時、傘を半びらきにした、中にも毒々しい魔形なのが、二の松へ這つて出る。此にぎよつとしながら、いま一祈りかけると、その茸、傘を開いてスツクと立ち、躍りかゝつて、「ゆるせ、」と逃げ※る山伏を、「取つて噛まう、取つて噛まう。」と脅すのである。——彼等を輕んずる人間に對して、茸のために氣を吐いたものである。臆病な癖に私はすきだ。

そこで茸の扮裝は、縞の着附、括袴、腰帶、脚絆で、見徳、嘯吹、上髯の面を被る。その傘の逸もつが、鬼頭巾で武惡の面ださうである。岩茸、灰茸、鳶茸、坊主茸の類であらう。いづれも、塗笠、檜笠、菅笠、坊主笠を被つて出ると言ふ。……此の狂言はまだ見ないが、古寺の廣室の雨、孤屋の霧のたそがれを舞臺にして、ずらりと此の形で並んだら、並んだだけで、おもしろからう。……中に、紅絹の切に、白い顔の目ばかり出して褄折笠の姿がある。紅茸らしい。あの露を帶びた色は、幽に光をさへ放つて、たとへば、妖女の艶がある。庭に植ゑたいくらゐに思ふ。食べるのぢやあないから——茸よ、取つて噛むなよ、取つて噛むなよ。……

大正十二年六月

青空文庫情報

底本：「鏡花全集　巻二十七」岩波書店
　　1942（昭和17）年10月20日第1刷発行
　　1988（昭和63）年11月2日第3刷発行
※題名の下にあった年代の注を、最後に移しました。
入力：門田裕志
校正：川山隆
2011年8月6日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

くさびら

泉鏡太郎

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/